

# 別山山行報告

1. 2016年5月28(土)～5月29(日)
2. 参加者：清岡・宮本・近藤・伊藤
3. コースタイム

5月28日

奈良発(6:00)～京奈和/京滋/名神/東海北陸～白鳥I/C～石徹白登山口(10:20)

石徹白登山口出発(10:45)～神鳩ノ宮避難小屋(13:05)～銚子ヶ峰(14:25)～  
一ノ峰(15:40)～二ノ峰(16:25)～三ノ峰避難小屋(17:30)

5月29日

三ノ峰避難小屋(5:00)～別山(7:10)～石徹白登山口下山(15:10)



## 4. 概要

年間を通じて頻繁に出かける山をあげると白山山系ではないかと思います。特に、別山のピークハントを入れた、四季折々いろいろなルートからの山行に参加してきました。今回の岐阜県の郡上八幡市の石徹白からのルートは2008年11月に神鳩ノ宮避難小屋を一泊で参加したのですが三ノ峰まででした。

今回は一日目に何とか頑張って三ノ峰避難小屋泊まりで、翌日にピークハントをして下山の計画です。

奈良を朝6時に出発。白鳥I/Cで下り950mの檜峠を越え石徹白川の林道の終点の登山口に10:20に着きました。

20～30台駐車ができるスペースと休憩場やトイレもあり、こんな人里離れたところと思うような立派な登山口とその横に冷たくて美味しい水が出ていました。

今夜の三ノ峰避難小屋を目指して出発。二日間の水、食料、シュラフなどで荷物が肩に食い込みます。このルートは、石徹白禅定道と呼ばれた白山への信仰登山道の一つで、登山口から標高 100mほど上がったところまでは、400 段もの石畳の階段道です。上がりきったところに、樹齢 1800 年の大きな杉の古木があります。それを右手に見ながらブナ、ナラ類の自然林の中を登って行きます。

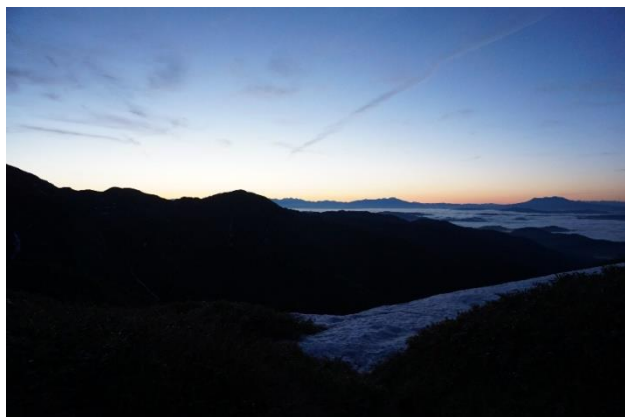
このあたりの新緑は今が最も美しく、涼しげでとても気持ちがよいです。途中、「おたけり坂」という面白い名前の付いた急坂が 200~300m続きます。

前回利用した神鳩ノ宮避難小屋を過ぎ最初のピークの銚子ヶ峰（1810m）に到着。そこには大きな方位盤があり視界が良ければ周囲の山々が望むことが出来るのですが、今日は視界が悪くほとんど確認できませんでした。

それから、一ノ峰（1839m）、二ノ峰（1962m）のピークを 100m前後のアップダウンを繰り返し、最後の三ノ峰の手前のピークを登り切って三ノ峰の避難小屋に到着する予定で進んでいたのですが、そこで道を間違えてしまいました。

避難小屋手前に雪渓が数ヶ所あり、最初の雪渓が登山道を遮っていました。緩い斜面で滑る危険がなかったのもそのまま直登して小屋への近道を取ろうとしました。雪渓の上は背丈以上の笹で覆われていたのですがこれを超えればすぐ小屋だと思い登っていったのですが、悪戦苦闘の末、体力を消耗し、再び雪渓に戻り登山道を探して登り出すことになりました。この雪渓のさらに上部に大きな雪渓がありここも登山道を遮っていました。慎重に雪渓の脇の笹を掴みながら登り、小屋に到着した頃は全員体力を使い果たしていました。

道を間違ったことで約 1 時間ロスしたことが、最後に残った体力を無駄に費やした大きな反省点でした。何も食べたくないほどでしたが、アルコールで疲れを癒し簡単に食して、そのまま寝込みました。



二日目は快晴。4 時過ぎの薄明りで見える景色は最高です。北アの稜線から南アの山並みが美しいシルエットになり浮かび上がってきます。近くには荒島岳や赤兎山、大長山、能郷白山などなど。今回の目標の山、別山が残雪の稜線とともに目の前にあります。

小屋に不要なものをデポし空荷同然の荷物で 5 時出発。ルートは残雪もなく稜線のキンポウゲや白山イチゲなどの花を愛でながら快晴無風の稜線を散歩する気分です。頂上に到着。周囲の山々を確認しながら昨日の苦労が吹っ飛んでしまいました。

帰りのルートは石徹白登山口までの下山ですが途中にアップダウンが何重にも繰り返され最後は今日も悲鳴を上げながら終了することとなりました。

